

第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会全国大会 in 近畿

「わが街、はり・きゅうのある暮らし～バック・トゥ・ザ・鍼灸～」



第18回 日本鍼灸師会全国大会 in 近畿

わが街、はり・きゅうのある暮らし

2023 @ スターゲイトホテル

10/21・22 日

大会申込み QR

事務局 公益社団法人 大阪府鍼灸師会
電話：06-6351-4803 (代表) FAX：06-6351-4855
〒530-0037 大阪府大阪市北区松ヶ枝町 6-6 大阪府鍼灸師会館 2階
主催：(公社)日本鍼灸師会 支援事業者：西鉄旅行株式会社
主管：(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック (兵庫・京都・滋賀・福井・奈良・和歌山・大阪)

OSAKA HARI9 JAPAN EXPO 2025 いっしょに、いこな！
大阪・関西万博

いよいよ全国大会まで3か月、8月1日(火)よりお申込みを開始いたしました。

大会プログラム(公開講座・シンポジウム・専門講座・要穴カルタ大会)も決まり、着々と準備を進めております。

また、会場ホワイエにて・体験コーナー・業者展示・縁日・お土産を盛り込んで、参加者全員が楽しめる大会となっております。

また、懇親会もございますので会員同士の交流を存分にして頂きたいと存じます。

大会内容につきましては、大会ホームページ(下記QRコード)にてご確認ください。

皆様のご参加をお待ちしております！



ご参加のお申込みは
コチラ



全国大会 in 近畿 HP



全国大会 in 近畿 PV

《会 期》 令和5年10月21日(土)・22日(日)

《開催方式》 現地開催

《会 場》 スターゲイトホテル関西エアポート(大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地)

《懇親会》 スターゲイトホテル関西エアポート 4F 鳳の間(懇親会参加費 10,000円)

《参加費》

会員・準会員(近畿各師会含む)	事前	10,000円	当日	12,000円
非会員	事前	12,000円	当日	14,000円
学 生	事前	3,000円	当日	5,000円
学 生(団体)	事前	2,000円(5名以上)		

【主催】(公社)日本鍼灸師会 【主管】(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック

【担当】(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック 【支援事業者】西鉄旅行株式会社

【大会事務局】第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会全国大会事務局

〒530-0037 大阪府大阪市北区松ヶ枝町 6-6 (公社)大阪府鍼灸師会事務局内

電話 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855



観光案内

りんくうプレミアム・アウトレット(左)
りんくうプレジャー・タウン・シークル(右)
共に会場から徒歩5分ほどの商業施設です。

Contents

F-1

・第18回 公益社団法人
日本鍼灸師会全国大会 in 近畿

F-2

・日本鍼灸師会 全国大会 in 近畿
プログラム

F-3

・霊枢勉強会報告
・令和5年度 厚生労働大臣免許保有
証の申請について

F-4

・緩和ケアにおける補完代替療法

F-5

・「緩和ケアにおける鍼灸師の役割」
・研修事業のご案内
令和5年度 8月・9月

F-6

・研修会案内 ・行事予定

第18回 公益社団法人 日本鍼灸師会 全国大会in近畿 プログラム

	10月21日(土) 11:00～受付開始	10月22日(日) 8:30～受付開始
	5Fクリスタルルーム	5Fクリスタルルーム
		6Fアクアマリンルーム
9:00		9:00～10:00 専門講座3 「整形外科医から見た鍼灸」 市橋 研一
10:00		10:00～14:45 学生対抗 要穴カルタ大会
10:00		10:15～11:45 専門講座4 「医療連携と小児はりの可能性」 児玉 和彦 油谷 真空
11:00		
11:30	11:30～12:00 開会式	
12:00		11:55～12:35 ランチョンセミナー 協賛：株式会社チュウオー
12:30	12:30～14:00 公開シンポジウム 「鍼灸（東洋医学）が根付く街」 南出 賢一 米倉 まな	
13:00		12:45～13:45 専門講座5 「令和時代の経営術&働き方 評価の上げ方」 加納 光
14:00		14:00～15:00 公開講座 「奇跡のすぐそばに居ること -地域に根差す医療とは-」 荻田 和秀
14:15	14:15～15:45 専門講座1 「鍼灸師としての防災と復興支援 -困難な被害状況を乗り越える 鍼灸師の活動と備え」 牧 紀男 日比 泰広	
15:00		15:10～15:40 閉会式
16:00	16:00～17:30 専門講座2 「耳介鍼による痛みの緩和」 武田 充史	5F ホワイエにて 10月21日（土）11:00～17:00 10月22日（日）9:00～15:00 縁日、、企業展示、小児はり体験、はりきゅう展示、 避難生活体験、AED講習会、もぐさ作り等など開催中 縁日やブース巡りにて景品をGetしましょう！
17:00		
18:00	18:00～20:00 懇親会 4F 鳳の間	



霊枢勉強会報告

講師：日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

- 日時：令和5年（2023年）6月11日（日）第27回
- 会場：大阪府鍼灸師会 会館3階
- 出席者：会員20名（内Web10名） 一般24名（内Web14名） 学生7名（内Web7名）

*6月度は会場20名、ネット配信での受講が31名でした。

○『黄帝内経霊枢』 経筋（けいきん）第十三・第九章

○01 手の陽明（ようめい）の筋は、02 大指（たいし）の次指（じし）の端（はし）に起こって、03 腕（わん）に結（あつ）まり、

（解説）

*経筋（けいきん）は古い経脈（けいみやく）の流注、つまり経脈（けいみやく）が三陰三陽に分類された、まだ独立した一本一本であり、「環（たまき）の端（はし）なきがごとし」というような互いの関係性が与えられていない段階の経脈（けいみやく）をもとにして作られた考え方である。それがこの「経筋篇（けいきんへん）」と言える。

そういうこともあり経脈（けいみやく）と経筋（けいきん）の流注は類似している。手の陽明（ようめい）の筋の流注も手の陽明の経脈（けいみやく）と同じように、大指の次指の端（はし）に起こり腕（わん）に結（あつ）まる。

○04 上（のぼ）って臂（ひ）を循（めぐ）り、05 上（のぼ）って肘（ひじ）の外に結（あつ）まり、

（解説）

*04節の「上（のぼ）って」という表現は手を下におろした状態で手から前腕、上腕へと上がっていくことを指す。
*04節の「臂（ひ）」は前腕を指す。

○06 臑（じゅ）に上（のぼ）って、07 髃（ぐう）に結（あつ）まる。

（解説）

*「臑（じゅ）」は上腕を指す。
*07節の「髃（ぐう）」は現代の肩髃（けんぐう）というつぼの辺りである。髃（ぐう）という時は肩髃（けんぐう）を指すというのが一般的である。髃の部分である。

**肩髃（けんぐう）： 部位 肩周部、肩峰外縁の前端と上腕骨大結節の間の陥凹部。（『新版 経絡経穴概論 拡大版 2009年4月 第1版』日本理療科教員連盟・社団法人東洋療法学校協会編、（株）医道の日本社発行（96ページ）より引用。

○08 其（そ）の支（し）なるものは、09 肩胛（けんこう）を繞（めぐ）って、10 脊（せき）を挟（はさ）む。

（解説）

*ここでは、「そこから別れて肩甲骨を通っていき、脊柱の部分で二つに分かれる」と言っている。10節の「脊（せき）を挟（はさ）む」というと、何となく脊柱起立筋のようなイメージはあるが本当にそうなのかどうか、これはわからない。経筋（けいきん）というのが解剖学的なものをどの程度反映しているのか、あるいは反映していないのか、これはまだまだ検討の余地があると思う。

○11 直（ちよく）なる者は、12 肩髃（けんぐう）より頸（くび）に上（のぼ）る。

○13 其（そ）の支（し）なる者は、14 頰（ほお）に上（のぼ）って、15 頰（きゅう）に結（あつ）まる。

（解説）

*15節の「頰（きゅう）」というのは頰骨（ほほぼね）の部分である。
*張介賓（ちょうかいひん）は、「手の太陽、観膠（けんりょう）穴の分」だと言う。

○16 直（ちよく）なる者は、17 上（のぼ）って手の太陽（たいよう）の前に出て、18 左角（さかく）に上（のぼ）って、19 頭（かしら）を絡（まと）い、20 右頤（うがん）に下る。

（解説）

*18節から20節までの文章について愈正燮（ゆせいしょう）という人はこのように注解を入れる。
「案筋双出、此有'上右角、交頰、下左頤'之筋、文脱”。【案（あん）ずるに筋、双出（そうしゅつ）し、これ右角（うかく）にのぼり頰（てん）に交わる。左頤（さがん）下るの筋あり、という文（ぶん）を脱す】」

18節から20節は片側の方向しか書いていないので不完全であると言っている。

○21 其（そ）の病（やまい）、過ぎる所（ところ）に當（あ）たる者、22 支痛（しつう）し、及び轉筋（てんきん）す。

（解説）

*21節は、流注（るちゅう）のことを言っている。ここでは手の陽明（ようめい）の筋の流注である。
*22節の「支痛（しつう）」というのは、突っ張って痛む。緊張した状態である。
*22節は『甲乙經（こういつきょう）』という本には「支轉筋痛。（支え轉筋し痛む）」となっている。

○23 肩（かた）、擧（あ）がらず、24 頸（くび）、左右に視（み）る可（べ）からず。

（解説）

*ここでは腕が上がらず、頸を左右に動かすことができないと言っている。

*この文章を読んで「運動時痛かな」と考えることは容易である。しかし運動時痛であれば出て来るすべての病証の少なくとも九割方が運動器系のものでなければならぬと思う。これはそのようにはなっていないので運動器系と見ることはよろしくないと言わざるを得ない。23節と24節は数少ない運動器系の長文である。そもそも運動器系という発想があったかも怪しい。

○25 治（ち）は燔針（はんしん）却刺（ごうし）に在（あ）り、26 知るを以（もつ）て數（すう）と爲（な）し、27 痛むを以（もつ）て輸（ゆ）と爲（な）す。28 名づけて孟夏痺（もうかひ）と曰（い）うなり。

（解説）

*（手の太陽の筋の項で以下の説明あり）燔針（はんしん）は、焼き鍼のこと。却刺（ごうし）は『類経（るいきょう）』によれば「治（ち）は燔針（はんしん）却（ちらし）て之（これ）を刺すに在（あ）り」と読んでいるが、この読み方には無理がある。この読み方は採らないほうが良いと思う。
*「知るを以（もつ）て數（すう）と爲（な）し」というのは、自覚的あるいは他覚的な所見を見て治療の回数を決めるということであろう。

*「痛むを以（もつ）て輸（ゆ）と爲（な）す」ということについて『千金方（せんきんぽう）』など隋唐時代のテキストの中にも「阿是（あぜ）穴」という概念がある。「おして痛いところがつぼなのだ」というものである。その先駆的なものともいえる。しかし「経筋（けいきん）」の部分だけ「痛むをもって輸（ゆ）となす」としたのか、なぜそうしたのかという疑問はある。この当時すでに「穴（けつ）」というものはあったと考えられる。それを「痛むをもって輸（ゆ）となす」とわざわざ書くことに何か意味があるのかという疑問が生ずる。「輸（ゆ）」というのは「つぼ」、治療点のことである。このように書かれると治療点として設定されたつぼが要らなくなる。患者さんのからだをおして痛いという部分が治療点なのだ、と考えるとほっとする部分もあるが、本来の中国医学では、おして痛いところがつぼにはなっていない。古代からの経穴書には「おして痛いところがつぼ」とは一行も書かれてはいない。

*孟夏（もうか）、仲夏（ちゅうか）、季夏（きか）という順番に季節は移る。現在の暦では5月、6月、7月頃に対応する。

*『霊枢』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。勉強会のご案内につきましては本会ホームページをご確認下さい。

次回は8月13日（日）です。八月は年に一度の特別講義です。テーマは『経絡（けいらく）治療の脈診（みやくしん）』、篠原孝市先生にお話いただきます。

（霊枢のテキストは現在2冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください）

（霊枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己）

令和5年度 厚生労働大臣免許保有証の申請について

令和5年度 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師厚生労働大臣免許保有証発行の申請（新規発行・書換え・再交付・更新）受付開始！！

携帯用免許保有証（大きさはクレジットカード大、顔写真入り）の申請受付を開始します。

申請用紙は大阪府鍼灸師会事務局でも配布致しますので、希望される方は事務局へお問い合わせください。但し、申請用紙の請求には、送料（実費）が必要です。

詳細につきましては、

- ・公益財団法人東洋療法研修試験財団ホームページ <https://ahaki.or.jp/hoyuusyout/>
- ・公益社団法人日本鍼灸師会ホームページ <https://www.harikyu.or.jp/9331/> 等をご覧ください。

◆申請受付窓口 大阪府鍼灸師会事務局 06-6351-4803

◆申請手数料 ・日本鍼灸師会会員：2,000円（助成あり）・日本鍼灸師会非会員および準会員：4,000円※保有証送料（実費）は別にいただきます。

◆申請受付期間 令和5年7月1日（土）～8月31日（木）（2か月間） 厳守

◆保有証発送日 令和6年3月ごろ（予定）

「緩和ケアにおける補完代替療法」

島根大学医学部附属病院臨床研修センター 大野 智先生

2023.7.9 大阪府鍼灸師会主催学術講演会

大野先生は、NHKの「あさイチ」や「ためしてガッテン」「クローズアップ現代」などの監修をされたり、トクホ（特保（特定保健用食品））の審査委員もされており、統合医療・補完代替医療の研究や委員を2002年より第一線で実行されています。

「緩和ケア」とは、WHO2002年の定義では、「生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者と家族の痛み、そのほかの身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に同定し適切に評価し対応することを通して、苦痛を予防し緩和することにより、患者と家族のQuality of Lifeを改善する取り組みである」とされており、終末期医療やがん末期のターミナルケアだけを指すことではないと言われています。

がん治療と緩和ケアの関係もがんが診断された時点からがんに対する治療と並行して緩和ケアを行い、状況に合わせて割合を変えていくようになっています。

「補完代替療法」に対する誤解があり、利用する患者はレアケース？ではないし、補完代替医療に「興味を持っている」人が4割+「利用している」人が4割で83%にも及びます。

「補完代替療法」を利用する患者の生存率が低いというのも誤解で、ある論文で補完医療の利用は、5年生存率の低下と関連し独立した死亡リスクであったと報告されていますが、補完医療の利用者は①手術の拒否②化学療法の拒否③放射線治療の拒否④ホルモン療法の拒否するケースが多く、治療の開始の遅延も問題でこれらを補正すると生存率に差がないことがわかっています。

また、「補完代替療法」について医療者が相談にのることは決して無駄ではなく、緩和ケアの論文で「希望を持ちながら心残りのないようになできた」と無駄でないことがわかっています。

では、この「補完代替療法・統合医療（厚生省は統合医療と呼んでいる）」とは、「近代西洋医学を前提として、これに相補（補完）・代替療法や伝統医学を組み合わせて更にQOLを向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの」とされており、この補完代替療法には、8つの療法の分類と療法の例として、国家資格等や国の制度に組み込まれているものその他、に分類がなされています。鍼灸は身体への物理的刺激を伴うもので国家資格等に分類されています。

20年以上前ですが、わが国の初、厚生省のがんの補完代替療法の全国実態調査では、44.6%の利用者があり、欧米と同じ結果だそうです。利用している内容としては、健康食品・サプリメントが96.2%、気功3.8%、灸3.7%、鍼3.6%、となっています。

最近の調査としては、厚生省の調査と患者の対照の背景が違うものの、緩和ケア病棟で亡くなったがん患者における補完代替療法の使用実態と家族の体験の調査（2017年）でも利用者が52.5%あり、サプリメントが54%と半分になり、運動・マッサージ・温泉温熱療法・マインドフルネス・食事療法などが増えています。

補完代替療法の利用目的（期待していること）は、2017年の厚生省の研究班の報告では、病気の進行抑制40%、病気の治癒22%、苦痛症状緩和40%、免疫力向上43%、精神的な希望47%、となり、身体的・精神的な助けになっていること実感されているそうです。

問題点は、①健康被害として「自然・天然」は安全を意味していないことや補完代替療法にも健康被害のリスクがあり、例として、医薬品との併用被害のセントジョーンズワートを挙げられていました。その他、②経済被害として契約・請求トラブルに注意や高額な治療ほど効果が高いわけではないこと、③機会損失として標準治療を否定しているものには近づかないこと、が挙げられています。

補完代替療法が「効く」のは、裏付けである科学的根拠（エビデンス）が必要です。科学的根拠には種類がありますが、臨床試験「一次情報としてはランダム化比較試験が最も信頼性が高い」が必要です。ところが、治療効果に関してほとんどの医療行為は治療効果がグレーゾーンで「医療の不確実性」と言い、補完代替療法の科学的根拠（特にランダム化比較試験）はあるのですが、どのように効くのかの見極めが重要になります。

補完代替療法に関するRCT報告数は最近では2000件を超えています。その報告の一例として、倦怠感を自覚する進行がん患者の倦怠感の改善にアメリカ人参（Ginseng）や倦怠感を自覚する乳癌患者への倦怠感やQOLの改善にヨガ（Yoga）は効果があるのが分かっています。また、副作用や相互作用もあり、健康食品と医薬品の相互作用も分かっていますので、信頼できる情報源である厚生労働省の「統合医療」情報発信サイト[eJIM]や書籍、編集/日本緩和医療学会発行の「がんの補完代替療法クリニカル・エビデンス」を推奨されています。

この本の中には、鍼灸に関する臨床疑問として、がんに伴う身体症状を軽減するか？や、何等かの望ましくない有害事象を引き起こすか？などSR（ランダム化比較試験やシスマティックレビュー）にて評価されています。

大野先生自身、抗がん剤による末梢神経障害の患者さんに鍼をしていて、個人的な見解になるそうですが補完代替療法として、鍼灸治療が有効であると言われていました。

科学的根拠に基づいた医療（EBM）で考えると①科学的根拠②患者の病状・社会背景・医療環境③医療者の技術・経験（専門性）④患者の好みや価値観の4要素をバランスよく統合し、より良い患者ケアに向けた意思決定を行うための行動指針があり、5stepsを経て患者への適用を行います。この中で補完代替療法のエビデンスは、情報の見極め方・向き合い方のポイントがあり、「治療方針の意思決定はエビデンスで行われるのではなく、医療者と患者でなされるべきである」とされています。

重要なのは医療者と患者のコミュニケーションであり、注意点は、①パターナリズム「強い立場にある者が、弱い立場にある者の利益のためだとして、本人の意思は問わずに介入・干渉・支援すること」で患者の利益を一方向的に決めつけていることがある。②「ダメ・絶対!」の弊害として補完代替療法=悪いことというイメージが植え付けられてしまう。③自己決定権の誤解として行き過ぎた患者の自己責任論が医師の無責任に繋がることがある。④情報欠如（知識の有無）による医師と患者の意思が通じないことや意思決定能力がないと決めつけることがあります。

コミュニケーションのコツでは、①患者の不安や悩みを受け止める[傾聴]、②患者の不安や悩みを解決・解消するために何ができるか一緒に考える姿勢を示す、③補完代替療法が利用目的に合致しているか科学的に吟味することは[医療者としての責務]、です。エビデンスを教えてもらうだけではなく、強制することではないのがEBMであり、安心感を得たい、一緒に話し合い、一緒に解決するというコミュニケーションをとり納得したいと言われていました。

「緩和ケア」「補完代替療法」の総論を解説頂きました。もう少し詳しく知りたい時には、大野先生が書かれた書籍「健康・医療情報の見極め方・向き合い方」「民間療法は本当に「効く」のか」があるそうです。補完代替療法の鍼灸の受療があまり増えていないので、鍼灸師として科学的根拠をまず知識として学び、補完代替療法を望む患者さんには、より良いコミュニケーションをはかりながら、患者とその家族のQOLを改善したいと思いました。

(研修委員：思川裕子)



2023年7月9日(日)

学術講習(公社)大阪府鍼灸師 学術講習会

「緩和ケアにおける鍼灸師の役割」

明治国際医療大学 鍼灸学講座、明治東洋医学院専門学校
鍼灸学科長福田文彦先生



最初に「はり・きゅう治療(師)に必要なこと」として、

- “がん患者を知る”アセスメント(全身状態を知る、精神状態を知る、キーパーソンを知る)
 - “何ができるか”というアセスメント
 - “作用機序・エビデンス・経験”に基づく介入
 - “孤独”にならない
- を挙げられた。

「緩和医療(ケア)」は、以前はがん病変の治療を終えてからの治療と考えられていたが、近年は発症当初から緩和医療が始まる。トータルでみた治療のステージとして、「がんサバイバー」「ターミナル」の段階に分けられている。

「積極的治療」には、手術療法、化学療法、放射線療法がある。

「がんサバイバー」とは、緩和医療推進、相談支援・情報支援、就労を含めた社会課題対策、社会連携に基づく対策・患者支援、ライフステージに応じた対策をさす。

「ターミナル」は、苦痛の軽減、QOLを高める、人間らしい生活、が挙げられている。

鍼灸治療は、発症当初から「症状緩和」、「精神的援助・チーム医療」として介入できることや、「発症予防」あるいは「再発予防」としての効果がみられる。

それから、「担がん患者」の鍼灸治療を受診する理由を調査した結果、「家族、親戚、友人の紹介」や「癌になる前から鍼灸治療を受診」している人が多いことから、まさに、「発症予防」や「再発予防」が期待される。

「がん患者の苦痛=全人的苦痛(トータルペイン)」には、とりわけ精神的苦痛(不安、苛立ち、孤独感、恐れ・うつ状態)の関与が大きいと説かれた。

「はり・きゅう治療(師)にできること」として、疼痛緩和効果、自律神経機能調整効果、血流改善、筋緊張緩和効果、そしてとりわけリラックス効果が挙げられた。患者の身体によく触れる身体感覚コミュニケーションが発揮されやすい。

がん患者の精神状態について、不眠症、不安、うつ病などの精神症状を伴うがん患者に対して、鍼灸は有効な結果が示されているが、いまのところ、どんな治療法が効果的なのかという臨床結果はまだでない。

実技披露では、「がん患者の精神症状に対する鍼灸治療」として、前頭前野への治療が紹介された。「左右頭維」(側頭筋の圧痛点)に100Hzの通電が行われた。また、末梢神経障害では、陰陵泉-太谿(三陰交)を2Hzで行われる。

講師の福田先生は、講義中、終始柔和な表情をくずさないで話しされ、優しさがにじみ出てくる温かい講演であった。

(報告者:三木完二)



(公社)大阪府鍼灸師会主催 令和5年度 8月・9月研修事業のご案内

夏真っ盛り、暑さに負けず、本会と共により学びませんか?

第2弾、8月・9月度研修事業のお知らせです。

下記の要綱をご覧いただき、会員の先生方におかれましては、万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。詳細は、研修会案内をご参照下さい。

【日時】令和5年8月13日(日)10:00~12:00

霊枢勉強会(ハイブリッド開催)

【演題】

・霊枢勉強会 夏季特別講義(ハイブリッド開催・アーカイブあり)

「経絡治療の脈診」

講師:篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

【日時】令和5年9月10日(日)10:00~12:00

霊枢勉強会(ハイブリッド開催)

【演題】

・霊枢勉強会(ハイブリッド開催・アーカイブあり)

第26回「骨度篇第十四」

講師:篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表

・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり)

①“東洋医学ホントのチカラ”から見える鍼灸の未来

講師:山本 高穂 先生(NHKメディア総局)

第2制作センターチーフ・ディレクター)

②「今を知り、未来を創る鍼灸のエビデンス」

講師:松浦 悠人 先生(東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 助教)

【受講料】

会 員:1,000円(日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外:2,000円 学生:無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備

下さい

【参加申し込み方法】先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

QRコード(Googleフォーム)・当会ホームページから参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。

※お申込み・お振込み締切:8月度 8月10日(木)まで ※お申込み開始済
9月度 9月6日(水) ※お申込み開始は8月18日(金)より

【振込口座】受講料は、下記の口座へ、お振り込みにてお願いいたします。

ゆうちょ銀行 00950-3-145677

口座名義:公益社団法人 大阪府鍼灸師会

(↓他金融機関からの振込用口座番号)

〇九九(ゼロキュウキュウ)店(099) 当座 0145677

口座名義:公益社団法人 大阪府鍼灸師会

※手数料は参加者負担となります。ご了承ください。

※申し込みは、事前参加申し込みと、入金の確認(WEB受講)で完了となります。

WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOMミーティングURL」と「講義資料」、「Webセミナー利用手引き書」をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。

資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行っていただくようお願いいたします。

【取得単位】(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修(2単位)

(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座(2単位)

※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の氏名と振り込み時の氏名およびZOOM入室時氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願い致します。

※受講時ビデオonをもって単位認定いたします

※取得単位は、講習会終了後に当会にて登録作業を行います

※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与致しかねます。また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください

《WEBセミナー受講上の諸注意》詳細は「WEB聴講利用手引き書」をご覧ください

※撮影ならびに録画・録音はお断りいたします。

※当日使用するZOOMミーティングのソフトウェアをご自身が使用するデバイス(PC・タブレット・スマートフォン)に事前インストールをお願いいたします。また、最新版への更新をお済ませください。

※当日は参加者確認に時間を要するため、準備が出来た方は早めに受付を行って頂きますようお願いいたします。20分前から入室ができるよう準備いたします。

※最後に質疑応答の時間を設けますが、講義中もチャットにて随時質問をお受けいたしますので、主催者の指示に従って頂きますようお願い申し上げます。

※講習時はビデオon、マイクoff(ミュート)にご協力ください。

ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで

連絡先:TEL 06-6351-4803 FAX 06-6351-4855

E-MAIL: study@osaka-hari9.jp (研修委員会 清藤)

研修会案内

開催日	令和5年8月13日(日)	令和5年9月10日(日)	
時間	10:00~12:00	10:00~12:00	13時受付 ①13:30~15:00 ②15:15~16:45
場所	大阪府鍼灸師会館3F または WEB配信(ZOOMミーティング)		
研修会名	8月度霊枢勉強会 夏季特別講義	9月度霊枢勉強会	①“東洋医学ホントのチカラ”から見える鍼灸の未来 ②今を知り、未来を創る鍼灸のエビデンス
内容 講師名	「経絡治療の脈診」 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生	「霊枢」骨度篇第十四 日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生	①NHKメディア総局 第2制作センターチーフ・ディレクター 山本 高穂先生 ②東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 助教 松浦 悠人先生
午前午後通しの 聴講料	本会会員・準会員(卒後)・提携会員 ¥1,000 会員外 ¥2,000 学生 WEB 限定無料		
申込	掲載のQRコードまたは、大鍼会HPよりお申し込みください。9月度研修会は8月18日より受付を開始いたします。大鍼会ホームページやいかなごう(メルマガ)でもご案内いたします。※会場は先着30名、WEB受講は先着300名		
主催	公益社団法人 大阪府鍼灸師会		
学術講習会 講演案内文	<p>①2018年9月から年1回程度放送しているNHKの特集番組シリーズ「東洋医学ホントのチカラ」。鍼灸を中心に漢方薬やヨガなどの研究や臨床の最前線を世界各地のトピックを含めて紹介し、視聴者をはじめ医療関係者からも大きな反響を頂いている。本研修では、これまでの取材や反響から見えてきた鍼灸の可能性と未来について、慢性疼痛、精神疾患、リハビリテーション、スポーツケアを中心に番組映像を交えながら紹介する。②鍼灸は、長年の経験の積み重ねにより体系化された、いわゆる経験医学です。この臨床での経験や実践を科学的な手法を用いて検証し、論文として世に発信していくことでエビデンスは作られます。医学の発展は日進月歩ですが、その発展に論文は不可欠です。つまり、鍼灸が医療の中でどのような位置づけにあるか、どの程度の効果が期待できるのかを知るには論文からのエビデンスを紐解いていかなければなりません。これは、エビデンスがこれからの鍼灸の未来を創るひとつのツールになると言い換えることもできます。本講演では、エビデンスの観点から鍼灸の今後の展望や可能性について私見も交えてご紹介させていただきます。</p>		

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表(7月19日現在)

1. 令和5年8月予定

日時	主要行事	場所
7(月) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
7(月)	会費引き落とし日	
13(日) 10:00~	霊枢勉強会夏季特別講義	会館3階+WEB配信
31(木) 20:00~	第4回正副会長会議	会館2階

2. 令和5年9月予定

日時	主要行事	場所
3(日) 10:00~	第5回理事会	会館4階
7(木) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
9(土) - 10(日)	吹田みんなの健康展	吹田市文化会館
10(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
10(日) 13:00~	学術講習会	会館3階
23(土) - 24(日)	近畿ブロック会議	スターゲイトホテル

3. 令和5年10月予定

日時	主要行事	場所
5(木) 15:00~	生保労災審査会・相談会	会館2階
5(木)	会費引き落とし日	
8(日) 10:00~	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信
15(日) 10:00~	生保労災新規取り扱い講習	会館2階
21(土) - 22(日)	日鍼会全国大会 in 近畿	スターゲイトホテル

研修会 Webより申込み

	
8月度 (8/10~)	9月度 (8/18~)
Web配信利用手順書	
	